

# ぶどう管理講習会資料

平成 23年 6月 28日  
高岡農林振興センター  
J A いみず野  
市井施設園芸組合

## 1. 概況

本年のアレキ開花期は開花始め6月7日頃、盛期6月9日頃で、平年と比べて遅くなりました（下表参照）。しかし、ハウス・樹による生育のバラツキが大きい状況ですので、ブドウの生育状況を十分に把握し、管理が遅れないように注意して下さい。今後、灰色かび病、ハダニ類・カイガラムシ類の防除が特に重要です。

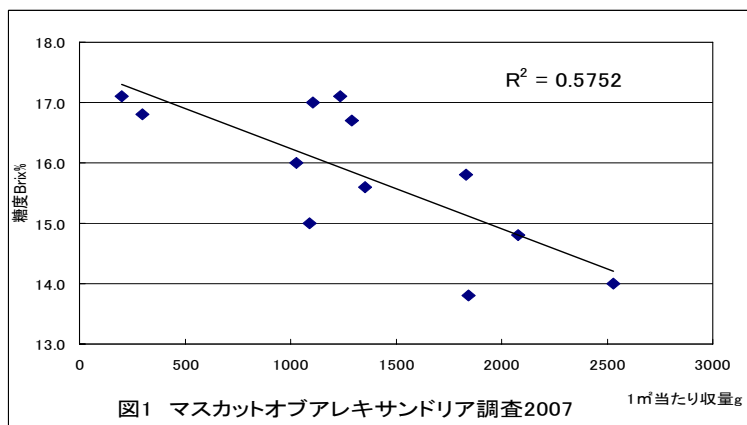
以下を参考に、今後の作業を計画的に行っていきましょう。

表 市井施設園芸組合のブドウ生育時期

品種	年次	開花始期	開花盛期	収穫始期	収穫盛期	糖度Brix%
マスカット・	本年	6月7日	6月9日			
オブ・アレキ	前年	6月5日	6月8日	9月4日	9月18日	18.2
サンドリア	平年	5月26日	5月30日	9月6日	9月19日	16.6

## 2. 着房数・着粒数について

単位当たりの収量が多い（果房が大きい、着房数が多い）園では糖度が低下する傾向があります。適正な着房・着粒数（40～60粒/房、4房/m<sup>2</sup>、450g/房）を目標に調整してください。また、500g以上の大きい果房を目指す場合は、着房数を通常より少なくしてください。



## 3. ハウス内の管理

梅雨時期はハウス内の湿度が上がるため、灰色かび病・縮果症（病）の発生が心配されますので換気を徹底してください。

梅雨時期はハウスの周りに水がたまらないように排水対策を徹底してください。灌水は梅雨明け後に適度に行うようにします。必要以上の灌水は、縮果症の発生原因となりますのでご注意ください。

#### 4. 縮果症(病)対策

- ・土壌が過湿にならないよう排水を良くする。
  - ☞ハウスの回りは排水溝を設置する。
  - ☞ハウスの回りの野菜に肥料をやると、ハウスの中のブドウが過繁茂になるので、注意する。
- ・ハウスの窓を空け、換気を良くし気温が上がらないようにする。
- ・ハウスの屋根に石灰乳を塗布し、直射日光をさえぎる。
  - ☞100 m<sup>2</sup>当たり石灰水和剤(クレフノン)3kg、木工用ボンド 250g を水 25ℓ に混ぜて動噴でハウスの屋根に散布する。

生育が旺盛だと縮果症が出やすいため、樹勢が安定するような管理が必要です。

#### 5. 今後の管理について

##### ●房の整理

原則として1新梢1果房とします。強勢な新梢は2果房、弱い新梢は無果房にして下さい。摘房の際には、花振るい等で着果が片寄った、形が悪い房を落として下さい。2果房とも良い房で、判断が迷う場合は、新梢の先端に近い房を残して下さい。

##### ●新梢の管理

副梢を放置すると込み過ぎますので、副梢は第一葉を残して切ります。

##### ●摘粒の方法

①1房13段程度にし、軸が長い場合は切り落とす。  
②1段に10粒以上ついている場合は6粒程度にする。  
③内向き、フトコロで絡み合いやすい果粒を摘粒する。  
④無核果や发育不良果は摘粒する。  
⑤摘粒は着粒の多い房から行き、1回目の摘粒で最終目標の2割増しの60~65粒程度にしてください。

④ 正常 (残す)      发育不良      変型      曲り      花系の付着  
摘粒する

着粒数 60~65 粒数の房の例  
(フトコロの摘粒が必要)